

イ B校の実践

(7) 授業改善のプロセス



6月の振り返り



生徒の実態

動画記録の分析、授業中の観察より

《授業づくりに生かしたいところ》

- 学習に前向きに取り組む生徒が多い。
- 男女仲が良く、ペアやグループでの学習活動も問題なく進めることができる。
- 成績について上下の幅があまりなく、集団指導を行いやすい。
- 宿題や発表の準備など、やるべきことにきちんと取り組む。

《課題》

- 学習活動への取組が積極的とは言えず、やや受け身である。
- 表現活動において、モデルとして提示した英文のまねに終わり、工夫がない。

「授業振り返りシート」 学習過程に沿った実態把握より

学習指導過程 2 単元ゴール 達成に向けた 学習の見通し	<ul style="list-style-type: none"> (△) 学習活動に見通しを持ち、粘り強く取り組んでいる。 (△) 間違いを恐れず、積極的に英語を使って学習課題の解決に取り組んでいる。 (△) 語彙・表現や文法をコミュニケーションの場面に応じて活用することができる。 (△) Teacher Talkや教材、また、クラスメートの発話や作品など様々なものから語彙・表現や文法を学んだり、学習内容に関する情報を得たりしている。 (△) 学習した内容や経験、また、新たに得られた知識・技能を積極的に活用しながら、コミュニケーションの相手や状況に応じて自分の意見や考えを発信している。 	
	<ul style="list-style-type: none"> (○) ペアやグループで協力して学習活動に取り組み、学習課題を解決している。 (○) 辞書やインターネット等を活用し、疑問点の解決やより良い作品作りに取り組んでいる。 (×) 自分の学習到達状況を振り返り、見いだした成果と課題を基に改善に取り組んでいる。 (△) 4技能5領域においてコミュニケーションを図ることができる力をバランスよく身に付けている。 	



教師の指導の実態

- (△) ア 学習活動の目的や内容、ゴールの姿を分かりやすく示している。
- (△) イ 安心して学習に取り組むことができる環境づくりをしている。
- (○) ウ 学習内容に興味・関心を持たせるための工夫をしている。
- (○) エ 語彙・表現や文法など基礎的・基本的な知識を、コミュニケーションの使用場面と関連付けて習得することができる工夫をしている。
- (△) オ 生徒が様々な場面で質の良いインプットを得ることができるよう、Teacher Talkや教材の語彙レベルや量、内容、提示の仕方などは、生徒の実態に応じたものにし、思考を促したり、気付きを起こさせる発問を行ったりしている。
- (○) カ 学習した内容を、異なる場面設定の中で活用することを通して、繰り返し学ぶことができるような言語活動を設けている。
- (△) キ 生徒の実態（語彙レベル、学習スタイル、学習環境、興味・関心など）に応じた様々な言語活動を通して、語彙・表現や文法などの知識や技能の習得が効果的に行われるようにしている。
- (△) ク コミュニケーションの必然性がある学習課題を設定し、相手や目的、状況を明確に示している。
- (○) ケ 生徒が自分で調べたり、人と協力して学習したりすることを通して、学びを広げ高めるとができる場を設けたり、環境を整えたりしている。
- (○) コ 生徒が自分の学習到達状況や変容を具体的に自覚できるよう工夫している。
- (△) サ 生徒の学習到達度を見取り、適切なフィードバックを行っている。
- (×) シ 自己評価や人との対話、作品の共有、フィードバックを通して、自分の考えを整理・修正したり、新しい学びを得たりすることができる機会を設けている。
- (△) ス 技能統合型の言語活動を設定し、4技能5領域にわたってコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう工夫している。

生徒が様々な場面で語彙・表現を豊かにすることができるための工夫がまだまだできそうだ。話すことに比べたら、書くことの力を付ける学習が足りないかな…？






手立て

※ 内のアルファベットは、「**手立てシート**」に対応しています。

- モデルの改編にとどまらず、表現の幅を広げるために生徒がインプットやインテイクにつながる活動に取り組む時間を増やし、活動の質も高める。
- 4技能5領域においてコミュニケーションを図ることができる力をバランスよく育成できるようにする。



主-M・S、対-C・D

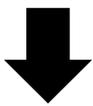


深-F





日々の具体的な取組	授業の変容
<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の使用を最小限にし、生徒が英語に触れる機会を増やした。生徒が理解しやすいよう、ジェスチャーをより多く使ったり、ペアで理解度を確認させたり、辞書で調べさせたりした。 ・以前よりALTを活用するようになった。 ・生徒が自分たちでアイデアを出し合い、身に付けた知識・技能を活用して課題解決に取り組む必然性のある言語活動を設定した。オリジナル度の高い作品づくりに挑戦させるために、ALTと協力してモデリングを工夫した。 ・複数単元についてバックワードで計画を立て、言語活動の偏りがないように心掛けた。 	<ul style="list-style-type: none"> →・生徒に、「自分の力で聞き取らなければいけない」という緊張感が見られるようになった。 ・自主的に辞書を引く生徒が出てきた。 →・ネイティブスピーカーならではの表現を紹介することができた。 ・よいコミュニケーションモデルを示すことができた。 →・どのペアもアイデアを出し合い、オリジナル度の高い作品を作り、発表に向けてよく練習していた。 →・読んだり書いたりすることを組み合わせた活動を、意識して設定するようになった。





8月の振り返り



生徒の実態

パフォーマンステストの結果、授業中の観察より

《授業づくりに生かしたいところ》

- 言語活動の際、内容を工夫し、表現することを楽しむ姿が増えてきた。
- 英語だけで授業を進めても、自分でどうにかして理解しようとする姿が見られる。
- 辞書の活用が増えた。

《課題》

- 生徒が受け身になっている時間が長く、教師の出番と生徒の活動のバランスがよくない。
- 話したり書いたりして表現する際、正確さに欠けるところがある。

「授業振り返りシート」 学習過程に沿った実態把握より

学習指導過程 2 単元ゴール達成に向けた学習の見通し	<ul style="list-style-type: none"> (○) 学習活動に見通しを持ち、粘り強く取り組んでいる。 (○) 間違いを恐れず、積極的に英語を使って学習課題の解決に取り組んでいる。 (△) 語彙・表現や文法をコミュニケーションの場面に応じて活用することができる。 (○) Teacher Talkや教材、また、クラスメートの発話や作品など様々なものから語彙・表現や文法を学んだり、学習内容に関する情報を得たりしている。 (△) 学習した内容や経験、また、新たに得られた知識・技能を積極的に活用しながら、コミュニケーションの相手や状況に応じて自分の意見や考えを発信している。 (○) ペアやグループで協力して学習活動に取り組み、学習課題を解決している。 	 前回より、改善されたところが出てきたぞ。
学習指導過程 3 単元ゴール達成に向けた理解や練習	<ul style="list-style-type: none"> (○) 辞書やインターネット等を活用し、疑問点の解決やより良い作品作りに取り組んでいる。 (×) 自分の学習到達状況を振り返り、見いだした成果と課題を基に改善に取り組んでいる。 (△) 4技能5領域においてコミュニケーションを図ることができる力をバランスよく身に付けている。 	



教師の指導の実態

- (○) ア 学習活動の目的や内容、ゴールの姿を分かりやすく示している。
- (○) イ 安心して学習に取り組むことができる環境づくりをしている。
- (○) ウ 学習内容に興味・関心を持たせるための工夫をしている。
- (○) エ 語彙・表現や文法など基礎的・基本的な知識を、コミュニケーションの使用関連付けて習得することができる工夫をしている。
- (○) オ 生徒が様々な場面で質の良いインプットを得ることができるよう、Teacher Talkや教材の語彙レベルや量、内容、提示の仕方などは、生徒の実態に応じた工夫を促したり、気付きを起こさせる発問を行ったりしている。
- (○) カ 学習した内容を、異なる場面設定の中で活用することを通して、繰り返し学習することができるような言語活動を設けている。
- (△) キ 生徒の実態（語彙レベル、学習スタイル、学習環境、興味・関心など）に応じた様々な言語活動を通して、語彙・表現や文法などの知識や技能の習得が効果的になれるようにしている。
- (○) ク コミュニケーションの必然性がある学習課題を設定し、相手や目的、状況を明確に示している。
- (△) ケ 生徒が自分で調べたり、人と協力して学習したりすることを通して、学びを広げ高めるとができる場を設けたり、環境を整えたりしている。
- (△) コ 生徒が自分の学習到達状況や変容を具体的に自覚できるよう工夫している。
- (△) サ 生徒の学習到達度を見取り、適切なフィードバックを行っている。
- (×) シ 自己評価や人との対話、作品の共有、フィードバックを通して、自分の考えを整理・修正したり、新しい学びを得たりすることができる機会を設けている。
- (△) ス 技能統合型の言語活動を設定し、4技能5領域にわたってコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう工夫している。

生徒がフィードバックを生かして、再考したり、考えを整理したりすれば、よりよい学びができるかな。少し高いレベルの言語活動にも挑戦させて、そこから学びを広げたり深めたりすることもできるかも。





手立て

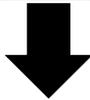
※ 内のアルファベットは、「**手立てシート**」に対応しています。

- 身に付けた知識・技能を駆使しながら解決する必然性がある活動を設定する。

主-C・N、対-E、深-D
- クラスメートと学び合い、自分の考えを整理したり修正したりすることができる場を設定する。

対-F、深-F・G
- 4技能5領域においてコミュニケーションを図ることができる力をバランスよく育成できるようにする。

対-E、深-E



(イ) 授業実践



11 月実施

教材 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2

Program 7 If You Wish to See a Change

単元の目標と授業改善の手立て

1	本単元で主に育てたい力		<ul style="list-style-type: none"> ○資料から情報を的確に読み取る力 ○資料を読んで考えたことを書いて説明する力
2	単元ゴールの活動		<p>「未来へのメッセージ～What Can We Do for the Earth?～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セヴァンさんに関する資料の情報や表現を参考に、トピックについて自分の考えを書き、セヴァンさんに手紙として送る。
3	単元における授業改善の手立て（☆は本時に取り入れる手立て）	主体的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ☆身に付けた知識・技能を駆使しながら情報を理解したり、自分の考えを伝えたりさせるために、オーセンティックでコミュニケーションの必然性がある活動を設定する。 ☆目標の設定や学習の振り返りを通して学習意欲を引き出すためにルーブリックを活用する。
		対話的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ☆グループで作品を見せ合い、互いに気付いたことについて伝え合うことを通して、何ができていて、何が課題かについて自覚し、よりよいものを作り上げるためのヒントを得ることができる場を設定する。 ・読んで得た情報を、整理して人に伝える必然性のある活動を設定する。
		深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ☆題材について深く考えさせるために、題材について複数の情報に出会わせたり、読んで分かったことを人に伝えたりさせる。 ・他の人とのやり取りや作品の比較を通して、自分の考えを見直したり、修正したり、新しい学びを加えたりしながら、よりよいものをつくり出すことができる場を設定する。

本時の目標と授業の実際

目 標

セヴァンさんの生い立ちに関する概要を複数読んで、情報を更に増やす。

授業の実際と授業研究会の記録

※ [] 内のアルファベットは、「手立てシート」に対応しています。

【全体を通して】

・理解が難しいところはジェスチャーで補いながら、ほぼすべて英語で授業が進められ、教師と生徒のインタラクションがたくさんあった。教師の話聞くことや、教師とやり取りをすることを通して、英語でのコミュニケーションに慣れたり、英語表現を身に付けたりすることにつながっていると思う。[C・D]

Please write the phrase you like. "Oh! I like this message."



・自分が資料から読み取ったことを、人に伝える必然性がある学習活動になっていた。[E]

黄色の付箋 : 主体的学びの視点からの意見

桃色の付箋 : 対話的な学びの視点からの意見

緑の付箋 : 深い学びの視点からの意見

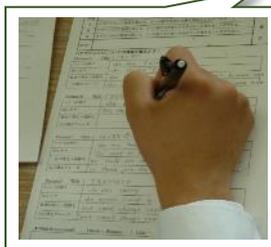
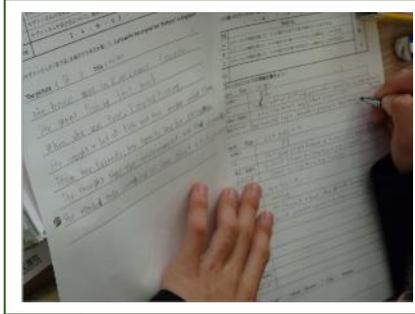
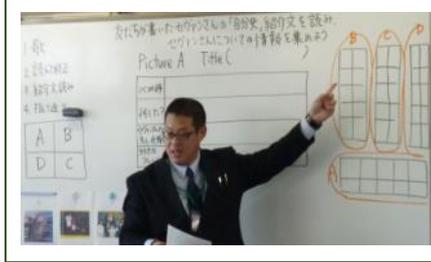
・教科書本文だけでなく、自作の i+1 の読み物が作られていたので、生徒の読む力を育成することや、セヴァンさんを身近に感じさせることにつながったと思う。[G]
 ・教師の話す英語を生徒が理解できているかについて、生徒とのやり取りを通して確認をしていたことは、生徒に「聞いて理解しよう」という意欲をもたせることにつながっていたと思う。[W]

・資料から読み取った情報や、読んで感じたことについて、自分の言葉で人に伝える技能統合型の活動は、生徒に思考を促し、複数の技能を育成することができると思う。[F]

※ [] は授業改善の手立て

過程	学習活動	○教師の働き掛け	授業研究会の記録 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に向けた意見
導入	1 ウォームアップ (1) 挨拶をする。 (2) "I was Born to Love You" を歌う。	○英語を話しやすい雰囲気を作るために、明るく、英語で生徒に話し掛けた。  Ha, ha! You are always sleepy, everyone. Fine! Oh, you are fine! ... Are you sure? Your eyes are closed ...	※ [1UP] は、今後取り入れるとよいと思われる手立て ・生徒と英語でやり取りをしながら、自然なコミュニケーションの場面を作ることができていた。[A] ・歌を歌わせることは、英語学習への動機付けを高めることに効果があり、学習の雰囲気づくりにも効果があった。[B] [1UP] 歌を歌った後、関連するトピックで教師・生徒間→生徒・生徒間のやり取りを行えば、既習表現を用いて自分の意見を伝えたいという意欲をもたせることにつながると思う。[B]

<p>導入</p>	<p>2 活動の見通しをもつ。(個人)</p>	<p>○活動に見通しをもつことができるようにルーブリックを提示した。</p> <p style="text-align: right;">主</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>黄色の付箋 : 主体的学びの視点からの意見</p> <p>桃色の付箋 : 対話的な学びの視点からの意見</p> <p>緑の付箋 : 深い学びの視点からの意見</p> </div> <p>・前時に集約した生徒の作品の中で、他の生徒にとって参考になるものを一覧にしたものが配付されたので、修正の時間に役立つと思った。〔D〕</p>
<p>展開</p>	<p>3 セヴァンさんの「自分史」紹介文を読み合い、修正する。(同じ情報を読んだ者で構成されたグループ)</p>	<p>○より分かりやすい紹介文になるように、クラスメートの助言を基に再構成するよう促した。</p> <p>○生徒が協力して修正し合う時間を設定した。</p> <p style="text-align: right;">対 深</p>	<p>・英文の量がかかなり多く、難しい語句もあったにもかかわらず、しっかり読もうとしていた。友達の英文を教材として使うことが、こんなにも生徒の読む意欲を引き出すとは思っていなかった。〔S〕</p> <p>・学習活動を行う手順について、口頭による説明だけでなく、図示して分かりやすく伝えようとしていた。〔R〕</p> <p>・クラスメートからアドバイスを受けたり、良いコメントをもらったりしたことで、自分の学習の成果や改善点に気づき、修正している姿が多く見られた。〔I〕</p> <p>・同じ情報について書いた生徒同士で、原稿を確認し合う時間があつたので、内容や表現について学び合う機会になったと思う。〔F〕</p> <p>1 UP → 友達の作品を修正する際の視点をもたせておけば、よりよい作品づくりにつながったと思う。〔I〕</p> <p>・互いの作品を読み、アドバイスをし合うために、これまで身に付けてきた英語力を活用していた。〔K〕</p>
<p>開</p>	<p>4 セヴァンさんの4つの「自分史」紹介文を読み取る。</p> <p>(1) グループごとに紹介文を読み、読み取った情報を表にまとめる。</p> <p style="text-align: right;">主 深</p>	<p>○レギュラーグループに戻らせ、互いの作品を読み、情報を集めさせた。</p> <p>○記述は、日本語と英語のどちらでもよいことを伝えた。</p>	<p>・辞書を積極的に使ったり、友達に尋ねたりしながら、友達の作品を理解しようとしていた。〔G〕</p>



展 開	<p>○自分の心に残った文や言葉について、英語でメモを取らせた。</p>	<p>○互いに答えを確認するとともに、思ったことを共有させた。</p>	<p>黄色の付箋 : 主体的学びの視点からの意見 桃色の付箋 : 対話的な学びの視点からの意見 緑の付箋 : 深い学びの視点からの意見</p> <p>1 UP → 互いの作品を読むときに、未習語が多く使われていた作品は理解することが難しかったと思う。友達に読んでもらうことを意識させて書かせるべきだった。〔H〕</p> <p>1 UP → 生徒の作品の英文の量が多かったので、時間内に読み終えることができなかった生徒が多く見られた。もう少し時間が欲しかった。〔G〕</p>
	<p>(2) 「自分史」を読んで、思ったことを書く。〈個人〉</p> <p>主 深</p> <p>○次時のWriting活動につなげるために感想を書かせた。</p> <p>I think Ms. Suzuki is a great person because she ...</p> 	<p>○次時のWriting活動につなげるために感想を書かせた。</p> <p>I think Ms. Suzuki is a great person because she ...</p> 	<p>・ALT や JTE が例文を紹介していたので、どのような英文を書けばいいのかイメージをもちやすかったと思う。〔H〕</p> <p>1 UP → 答え合わせとシェアリングの時間が短かったので、終われなかった生徒がいた。〔G〕</p>
ま と め	<p>5 振り返りをする。ルーブリックを用いて、自己評価をする。〈個人〉</p> <p>主</p> <p>○個人で振り返りの時間を取った後、数名感想を発表させた</p> <p>○全体で学習活動への取組についてコメントをした。</p> <p>Today's activity was very difficult, but you tried hard. That's great!</p> 	<p>5 振り返りをする。ルーブリックを用いて、自己評価をする。〈個人〉</p> <p>主</p> <p>○個人で振り返りの時間を取った後、数名感想を発表させた</p> <p>○全体で学習活動への取組についてコメントをした。</p> <p>Today's activity was very difficult, but you tried hard. That's great!</p> 	<p>1 UP → 評価表で提示した目標が理解力・表現力についてのみだったので、生徒の学習意欲を評価する項目があったら良かった。今の生徒たちにはチャレンジングな課題だったので、自己肯定感が下がったかもしれない。〔G〕</p> <p>"What can we do for the earth?" Her last message. The next time you will write your idea.</p> 
	<p>6 次時の予告を聞く。</p> <p>○次時は、学んだことを基に単元ゴールに関わる活動をすることを予告する。</p>		

ここをクリック → 学習指導案

今回の学習活動は、生徒にとってレベルが高いかなと心配したけれど、生徒の様子を見ながら、いろいろな手立てを用意したことで、生徒にとっても自分にとっても良いステップアップの機会になった。自信を付けた生徒がたくさんいてよかった！次にどんな取組をすれば、さらに生徒の英語力を上げられるかな？ → 次の実践へ